

図書館でのより良い医療情報 提供のあり方を考える 2024

～市民の課題を解決する図書館であるために～

11/20
(Wed)

15:00~17:10

開催方法：ZOOM

定員：400名

参加費：無料 **事前登録制**

参加対象者：図書館でがん情報、医療情報を
取扱う関係者
医療情報に関心のある方



第26回 図書館総合展ホームページにて、10月中旬より受付開始予定

つくるを支える、届けるを贈る「がん情報ギフト」プロジェクトでは、信頼できるがんの情報をいつでも、どこでも、誰もが手にできる地域づくりを目指し、公共図書館に「がん情報ギフトセット」を設置する活動を進めてきました。公共図書館は、誰もが自由に無料で利用できる地域の情報拠点であり、「がん情報ギフト」は2024年7月までに全国711館に設置され、多くの人に活用していただいています。



設置館担当者の方へのアンケートでは、「医療者からみたがん情報、医療情報の考え方」「医療者が推薦する資料」を知りたいという声が多くなり、図書館員の皆さんに医療のいろいろな分野について知っていただく機会のニーズが高いことがわかります。また、玉石混交の医療情報が流布する情報化社会の中で、医療分野が考える望ましい情報のあり方、図書館で大切にされている「知る自由」を守ることを公共図書館にて実現していくには、開かれた議論を続けていく必要があると考えています。

今回、がん、糖尿病、妊娠期・授乳期という異なる疾患や健康状態に関する健康医療情報を、図書館で提供することについて講演会を行います。医療の実際、医療からみた患者・市民に必要な情報提供のあり方を紹介したうえで、患者・市民の立場から公共図書館に望むこと、図書館での医療情報提供の実際について紹介していただき、「市民の課題を解決する図書館であるため」に互いができることを話し合う場とします。

第2部では、がん情報ギフト「結ぶ」事業として、図書館と地域の他機関が協働した企画について、具体的な取り組みを紹介していただきます。

